

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野 2-2-2 2  
☎042-724-2171  
「保守の会」派室  
自宅 042-795-7361



充実した議会活動

## 町田市の長野市災害支援を今回評価する

町田市は、阪神大震災当時は、災害発生後、直ちに現地の救援に向かっていました。神戸市内の病院には医者、看護師を派遣し、西宮市の清掃事業所には清掃収集職員と清掃車を派遣・出動させています。

一方で、東日本大震災時になると、災害支援の行動が東京都の指示待ち出動になり、私の知り得る限り、個別自治体の出動が他の後塵を拝する状況になっていました。今年の台風 15 号まで同じでした。

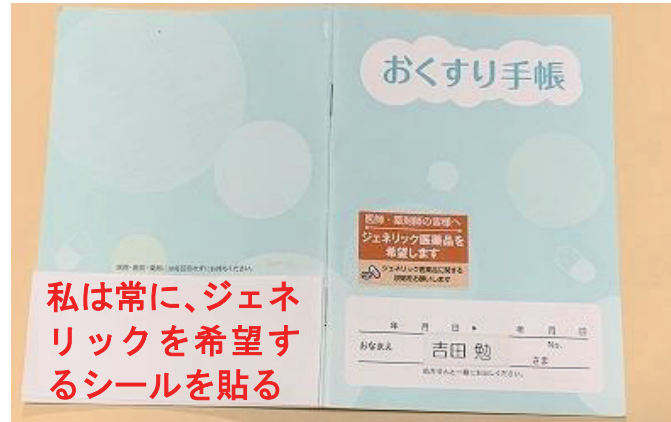
今回の台風 19 号の被災地に関して、町田市は長野市にいち早く、支援活動を行っています。まず、被災後直ちに、現地の聞き取り調査派遣を行い、まず避難施設運営支援職員の派遣を行い、次いで、長野市で発生した水害の廃棄物を収集し、清掃工場に運搬する支援を行いました。町田市は、長野市と「災害時相互援助協定市」を結んでおり、その協定に基づいて、直ちに現地に駆けつけたものです。万が一のために結んだ協定が有効に機能しているものと解しています。被災地で町田市の行政職員が頑張る姿が現地の被災者住民に感謝され、その職員も人につくす意識向上につながるものと確信しています。



熊本地震に出動した仙台市のごみ収集車両

## ジェネリック医薬品の推奨施策を歓迎

厚生労働省は、国民の医療費の伸びを抑える目的で、その 2 割を占める薬剤費の伸びを抑えるために、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の利用を進める病院の診療報酬を高くする施策を取ってきました。今後、さらにその方法を広範囲に適用する見込みです。



私はこのジェネリック医薬品を利用すべき立場を取ったのは、平成 18 年(2006 年)9 月に、「ジェネリック医薬品の現状と展望」と題して、メーカーの方をお願いして東京地区の議員対象の講演会を主宰開催した時からです。また、2009 年当時、全国の地方議員を対象にしたセミナーで、公立病院の経営改革を進めておられる講師の方(長 隆先生)に、「町田市民病院においてジェネリック医薬品の導入を提唱したが、まるで関心を示さなかった」と現状を報告すると、その先生は、「ジェネリック医薬品の普及は、聖マリアンヌ医科大では全面的に採用している。世界最大の医薬メーカーのファイザーがジェネリックに取り組む方針だ」と教えていただきました。私は、その後も一貫してジェネリック医薬品の利用拡大を町田市の保健医療と市民病院に求めてきました。

★ 政党無所属・市議会は「保守の会」 [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (自宅)

町田市議会議員 **若者育成の街**

# 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野 2-2-2 2  
☎042-724-2171  
「保守の会」派室  
自宅 042-795-7361



インターンシップ好評

## 極限の水害地・丸森町を歩く

台風 15 号が風害、台風 19 号が水害の特徴

台風第 19 号の水害によって、犠牲者と大災害が起きている宮城県丸森町に行きました。主要な道路は自衛隊の出動によって、仮復旧が図られ、何とか通行可能になっていました。ただし、これ以上は進めないところもありました。孤立した方々が自衛隊のヘリで救出された地区住民の方々にも遭遇しました。河川や道路の損壊、破壊状況から、本格復旧はなかなか見通しが立たないのではないかと思います。また、田畑には大量の土砂と流木が流れ込み、土壌の改良が必須になります。公的な負担があるにしても、個々の農家の将来設計の対応はまちまちとなるように思いました。

訪れた地区の中では、11 月 8 日時点で電気、水道の復旧はなっていました。200 ボルトは復旧していませんでした。訪問先の一つは、再開を目指して作業場の整理を進める工場でしたが、非常用の大型ジーゼル発電機(レンタル)を持ち込み、電気や室内クレーンの動力としていました。この工場がある地域では、まだ、固定電話も不通でした。この会社は、建設関係の工場でしたので、地元再建の中核になってほしいと願いました。



★ 吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

## 予想を超える被害に対処する

現地で見ると、ボランティアの最大、多数の仕事は家屋の片付けとなっており、その人数は無限に必要な気がしました。ボランティアセンターは、町庁舎の横にあり、規模も良く整っていました。町役場の前は、水害廃棄物の仮置き場になっていましたが、これから本格的に廃棄物が発生するようであり、処理には他の自治体の焼却施設の協力を得るほかないでしょう。

1 つの避難所に行きました。当初の人数が減り、内部には、段ボールの囲いとベットが配置されていました。阪神大震災をはじめ、数々の災害現場に足を運びましたが、これは初めて見ました。



移動式の新型水洗トイレが導入される

避難所では、仙台市と北海道職員と言葉を交わしました。保健師さんは、これからが本当の活躍があるのでしょうか。給水、暖房、衛生などの機材が新しいタイプのものがありました。トイレでは、大型の水洗式のものも登場していました。自衛隊も出動し、仮設テントの風呂が設置されていました。現地を案内してもらった、元町長の渡辺政巳さんは、南三陸市から、炊き出しのグループを呼び込む計画を話され、避難の方から歓迎されていました。



町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ  
右上は新規の  
ビジュアルサイト



インターン生募集中

## インターン体験記⑨ 石井 七海

今回は町田市総合体育館にて、町田市合気道連盟の初心者講習会に参加してきました。私は初めて合気道に接しました。

最初は見学するだけかと思ったら、主催・指導を担当された「合気道町田教室」の山本亘先生から、「出来るところまで一緒にやりましょう」と促され、技や基礎を学びました。意外なことに、吉田議員も初めての体験と言うことでした。経験者の方とペアを組み、1対1で丁寧に指導していただきました。日常生活においてあまり運動をしないので、普段使わない筋肉を使い、いいリフレッシュになりました。



講習会は、幼児、学生、ご高齢の方まで、幅広い年齢層の方々がいる空間で進められ、生涯を通じて出来る競技なんだなあと実感しました。また、親子で出来るというのにも惹かれるものがありました。良かったらまた来てみてくださいとお声がけいただいたので、機会があれば伺いたいと思います。

昭和女子大2年生 石井 七海(第44期生)

## 2020 春季インターン生を募集

第45期インターンシップ生を受けつけます



今度の2020年春季休暇中に社会体験を希望する学生を対象に、吉田つとむの第45期インターンシップ生を募集することにしました。この夏季の募集した要項と大きく変わる点はありませんが、1998年にインターンシップを開始して以来、ほぼ途絶えることなく、新規の参加者を迎えてきました。

3期連続トップ当選！の実績を持つ、町田市議 吉田つとむのインターンシップは、伝統と信頼をメインに個別対応が好評の研修メニューが特徴です。参加学生が就活達成、社会人として活躍するための個別のプログラムを独自に取り入れており、政治活動などが一切しませんので、事前に政治的な知識は当然必要としません。将来、政治家志望の必要性は全く無しです。吉田つとむは、若者育成がモットーです。そのため、一般のインターンシップや他の政治家のインターンシップのように、「作業」を目的にしたものでなく、議員に同行して様々の施設の企業の見学や、人と会うことで社会勉強を重ねるシステムを取っています。また、1年生から参加できる、その実績も多くなっています。あなたも、ぜひ、申し込んで下さい。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施  
★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。  
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

情報公開は政治と議会活動の基本

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
保守連合会派室  
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

## 研修レポート⑩ 石井七海

今回は神楽坂にある「菓房 メロンとロマン」、青森県つがる市東京事務所を訪問させていただきました。つがる市の東京事務所と、「菓房 メロンとロマン」は同じビルに入居しており、機能性を優先して都心のとても便利で華やかな場所に置かれていました。この建物の構成は、1Fがメロンのスイーツ工房と販売コーナー、2Fがカフェ、3Fが東京事務所になっていました。

そのつがる市は、人口3万3千人ほどの地方都市ですが、地域の特産品を積極的にPRして、地元の人を呼び寄せようという趣旨で市役所職員を東京に派遣されているものでした。



この「菓房 メロンとロマン」は、青森県つがる市が運営するもので、今年の7月にオープンしたばかりの日本初メロン専門工房です。青森といえばりんごが有名だと思われがちですが、メロンもつがる市が誇る特産品の一つ(生産高全国ベスト5位)だそうです。1Fのメロンのスイーツ工房と販売コー

ナーはしゃれたとても造りで、入口には、無料のメロンウォーターが設置されており、美味しく試飲もさせていただきました。

2Fのカフェの店内はメロンを五感で体験できる工夫がちりばめられていました。例えば視覚だと、5種類のメロンのイメージカラーで作られたペンで試し書きして色の違いを楽しめたり、触覚だとメロンの柄のコースターがあり、品種ごとに違う柄を触って確かめたりすることが出来ます。実際に食べたメロンはジュシーで、ほどよい甘みのする上品な味でした。もう一つ、二つと、手が伸びそうになり、とても美味しかったです。



注文した、メロンの特製フレンチトースト

今回ご縁があつてこのお店を知ることが出来、つがる市のことも知ることが出来ました。つがる市、もっと言うと青森県には行ったことがないのですが、これを機に行ってみたくなりました。



昭和女子大学2年生 石井七海(第44期生)

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <https://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)